

ごあいさつ

校門の階段を上がったところに学校教育目標「克己 連帯 探究」が刻まれた石碑があります。この「克己 連帯 探究」は、子どもたちが、他者と協働しながら、自信をもって生きていくことができる、自立した人に育つために欠かせない力であると考えます。



「克己 がんばりぬく」

誰かに指示されたからやるのではなく、自分で「こうなりたい」「できるようになりたい」と目標や見通しをもってやり抜く人になることを目指します。

うまくいかないこと、失敗することは当然ありますが、そこから学んでやり直し、更新していくことができます。そして、ねばり強くやり抜くなかで、着実に成長し、生涯にわたって生きて働く力となっていくと考えます。

「連帯 たすけあう」

自分も他の人も大切にする人を目指します。

人を大切にする第一歩は、「自分がされていやなことは、人に対しても、しない、言わない」ことであり、誰もが気持ちよく生活していくためにみんなが守る大事な約束です。困ったら周りに助けを求めたり、困っている人がいたら寄り添って一緒に考えたりと互いに助け合いそして互いのよさやちがいを認め合うことができるようにと願っています。

「探究 かんがえぬく」

自分で考え、進んで学び続ける人を目指します。

多様で複雑、そして予測困難な社会をたくましく生きていくためには、自分で考え適切に判断し、自ら行動する力が求められます。よくわからないこと、うまくいかないことに対して何とかしようと考えていく中で、自分の見方・考え方が広がり、わかった、できたと感じる喜びや楽しさ、考えることのおもしろさを存分に味わえるようにと願っています。

学校は、子どもたちの将来に必要なことを学ぶ場の一つです。教科の学習も、人とのかかわりも、自分の生き方も、トラブルも含め多様な体験を通して学んでいきます。「みんなで全校の子どもたちを見守り育てる」を合言葉に、本校教職員は、すべての子どもたちが安心して学べる学校にしていこう取り組んでいます。

豊野西小学校が、創立130周年を迎えた令和元年、東日本台風により豊野の地は、千年に一度という大災害に遭遇し、甚大な被害を受けました。本校も約2か月の間避難所となりましたが、全国からたくさんのご支援をいただきました。復興の歩みは続いていますが、保護者の皆様、地域の皆様、同窓会をはじめとする先輩の方々、そして被災当初から励まし支援をいただいている全国の皆様など豊野西小学校を支えてくださっているすべての皆様のおかげにより、健やかで明るくたくましい「ゆたかの」の子どもたちが育っています。心より感謝申し上げますとともに、今後ともご理解ご支援をよろしくお願い致します。

長野市立豊野西小学校

校長 小野 英子